

# 一般社団法人 日本気象予報士会

北海道～沖縄まで全国の気象予報士  
約3,300名が会員です。

## 支 部

全国に広がる支部を8つの地域ブロックに分け、関係機関と連携し、地域に密着した活動を展開しています。また、支部間の交流も活発に行っています。

北海道 北海道支部

東 北 東北支部

関 東 北関東支部、埼玉支部、千葉支部、東京支部、神奈川支部、山梨支部

北信越 新潟支部、北陸支部、長野支部

東 海 東海支部、静岡支部

近 畿 関西支部

中国・四国 山陰支部、岡山支部、広島県支部、四国支部

九州・沖縄 西部支部、鹿児島支部、沖縄支部



全国の各支部が、  
各々地元の気象台と連携して活動しています。

# 日本気象予報士会求人(2023年度の実績)

- 気象科学館(解説員)
  - 慶應義塾高等学校(非常勤講師)
  - 一般財団法人日本気象協会(契約職員)
  - 株式会社フランクリン・ジャパン(正社員)
  - 兵庫県環境部(任用職員)
  - 株式会社応用気象エンジニアリング(正社員)
  - シスメット株式会社(正社員)
  - 株式会社トータルメディア開発研究所(アルバイト、契約職員)
- 
- 毎年、一定数は継続して求人案内がある
  - 関東圏が多めだが、近年はリモートワーク可能も
  - 正社員・契約社員・講師募集・取材依頼など様々

# 日本気象予報士会求人(業務内容)

- 気象予報業務(特定顧客向け)、コンサル
  - 気象解説業務(ラジオ、テレビ等にキャスター出演)
  - 放送局向け原稿、図の作成
  - 気象海象データ分析、評価整理、顧客への提供
  - WEB作成、SNS発信
  - 気象予報士資格講座のテキスト作成、リモート講義
  - 科学館等の展示解説、案内
- 
- 近年はWEB作成・SNS発信業務なども
  - 気象観測・予報は、休日出勤・夜勤ありが基本
  - 天気図作画や原稿作成、メディア出演は継続

# 日本気象予報士会求人(条件、待遇)

- 日本気象予報士会宛なので、基本は気象予報士有資格が前提だが、明記されていない求人もあり
  - 基本PCスキル(Word・Excel)は必須が多く、あれば望ましいスキルとしてExcelマクロやプログラミングも
  - 普通自動車免許(AT可)が必須の求人もちらほら
  - 学歴条件(大卒など)はほとんどなし
  - 実務経験優遇が目立つが、新規歓迎も増えてきた
  - 待遇:21.5~30万円/月、時給制も
- 
- 気象予報士資格は断然有利
  - +αで使えるスキルがあると、なおよい
  - 待遇は一般的な業界と大きく変わらない印象

# 気象業界への就職について(個人の経験談)

- ✓ 気象業界内の選択肢(気象庁職員・研究職・民間企業・キャスター等)を知り、方向性を定めることが重要。
  - イベント、コミュニティに参加して繋がりを作っておくと、ネット等では収集できない実情等を得られる可能性あり。
- ✓ 気象予報士資格は必須ではないところが多いものの、大きな武器にはなる。採用プロセスは基本的に他業界と同様。
  - 特に新卒採用は、気象業界用の特別な対策は少ない。気象予報士資格は目立って優遇されることは少ないため、“資格だけ”では難しいが、自己PRの大きな武器にはなる。
- ✓ 気象業界の新卒の受け皿は少ない。どうしても気象の仕事がしたいなら、新卒にこだわらないのも一つの手と考える。
  - 気象に関わる仕事で新卒募集をしている会社は数えるほど。近年、気象だけでなくプログラミング・コンサルティング等の能力も重要視されてきており、スキルを磨いて転職もあり。